

◆年末年始 恒例祭のご案内

○大祓式・歳晚祭・天長節祭
十二月二十三日 午後二時

半年に一度個々の罪穢れを形代で祓うと共に一年の御加護に感謝を捧げます。

※参列自由ですが、出来ない場合は、神社よりお配りした形代(人形)にて各自お祓いをし、清々しく新年をお迎え下さい。(お正月様袋に同封)

○元旦祭・家内安全特別合同大祈願祭

併せて、初日を拝む会

一月一日 午前六時半

新年を言祝ぎ、皇室並びに国家の弥栄、氏子崇敬者の平安と幸福を祈念します。

※どなたでも参列出来ますので、希望者は十五分前までお越し下さい

○暁まいり・小正月(女正月)

一月十五日(金) 午前零時

厄落しの行事が各地であり、当社でも古よりの日に厄祓をする習わし。

○どんと祭 ◎人形感謝祭 午前九時

一月十五日(金) 午前六時～八時半

古いお神札などを清浄な火でお焚き上げし、御神火に無病息災を祈ります。

◎役目を終えた人形等をお預りします。

◆御祈祷のご案内

○新年家族並個人及団体祈禱
一月一日 午前零時～午後五時

家内安全、厄除、商売繁盛、合格祈願等

※ 随時御奉仕しておりますが受け出来ない時間(午前九時～十時)もありますので事前にご連絡下さい

※ 元旦午前十時～午後三時までには兼務社藤神主様にご祈祷をお願いしておりますので申し添えます。

二日以後は通常通り予約制にて午前九時～午後四時頃まで毎日行います

○年末年始 神棚祭・氏神祭・家祓等

『要予約』

平成二十八年厄年表

※ 上・生まれ年/下・数え年

	前厄	本厄	後厄
男性	平5年 24歳	平4年 25歳	平3年 26歳
	昭51年 41歳	昭50年 42歳	昭49年 43歳
	昭32年 60歳	昭31年 61歳	昭30年 62歳
女性	平11年 18歳	平10年 19歳	平9年 20歳
	昭60年 32歳	昭59年 33歳	昭58年 34歳
	昭56年 36歳	昭55年 37歳	昭54年 38歳

坪沼八幡神社社報

いまこそやるっちゃ がんばれ坪沼!



まっすぐ続く神の道

神の恵みと祖先の恩とに感謝しましょう

◆初詣は先ず氏神様の坪沼八幡神社へ

◆一日十五日は神社へお参りしましょう

東日本大震災被災神社への義援金受付中

今こそ変革の時

仙台ではいよいよ地下鉄東西線の開通や、震災復興の事業も進み、茂庭でも新たな街の創造に向けた工事が進められるなど、周りを見れば市内を中心に大きく変容してきております。

坪沼はといえば、のどかな里山の景色は昔と変わらず、時代の流れとはいえ、小学校から子供の姿が消えてしまったことは、まことに寂しい極みです。

その様な中、地域では学校跡施設の活用方法にからんで、坪沼の将来像について話し合われておりますが、逆に地域の良さが見直され、気付かされる機会となっており、住民の意識も変化してきていると感じられます。学校が無くなったことで一時は光さえも見失いかけてましたが、今では、このままではいけないと奮起し、それぞれにがんばっております。

地域の将来は他から与えられるのではなく、自分たちで考えなければ発展はありません。まだまだ課題も多いですが、生みの苦しみを経験して、ようやく光が見えはじめてまいりました。為せば成る。そして決めたならば、あとは行動

二月の行事(予定)

○三日 節分祭

福豆をお配り致しますので各戸で元氣よく豆まきをして下さい

○十一日 紀元節祭・奉祝県民大会

神社では日本の建国を奉祝し建国祭を執り行い、その後市内中心部で行われる祝賀式典に参加します。

○十七日頃 祈年祭 (第一回祭典会議)

収穫を祈る大祭で新嘗祭とともに全国の神社で行われる重儀

例大祭のお知らせ

平成二十八年の例大祭は、四月九日(土)に神輿渡御、十日(日)に奉祝行事を行いたいと思っております。

坪沼フォトコンテスト開催

神社が後援し、やるっちゃツボヌマ主催による第四回坪沼フォトコンテストの出展募集中!

編集後記

来年は申年、厄難去って、福縁(猿)来る良い年になりますように。
猿といえば「見ざる言わざる聞かざる」ですが、「よく見よく聞きよく話す」猿もいるんです。

するのみ。変わるも変わらないも自分達次第、今後はその本気さに掛かっております。

挑戦には恐れも伴いますが、光が照らし出された今、一歩踏み出す勇氣を持たなければ、さすれば必ずや次の解決の糸口が見えてくるはず、なにも大きく変わる必要はありません。坪沼らしさというアイデンティティ・地域の誇りと絆を守りながら、共通の目的意識をもち、力を合わせて挑んでいくのみ、進まなければ何も分ならず、挑戦のない所に進歩はありません。私たちの先祖は何度も何度もそれを繰り返して、決してあきらめずに今日の基をつくってきたのです。

そして私たちがそれを受け継ぎ、今日まで助け合いながら地域を守ってきた努力は決して無駄ではなく、現に今も息づいています。坪沼を何とかしなければという方々が、地元以外にもまたは若い人たちの中にも沢山いるのです。坪沼に脈々と残る「結」と呼ばれる共助の精神こそが新しい時代を乗り越えるのに必要不可欠な坪沼の底力となるでしょう。

神代から受け継ぐ心を心とし、田畑を耕しながら自然と共生してきた日本民族の営みこそが本来の姿、坪沼には貴重にもそれが残っているのです。人が人として幸福に生きる原点があり、それが守るべき坪沼の魅力だと思います。

年間行事

穏やかな新年を迎えて

「一年の計は元旦にあり」元旦の早朝より、氏子崇敬者が参集し、恒例の元旦祭にあわせ、新年の合同家内安全祈願祭が斎行され、祭儀後には御来光を拝した。今年の三が日は、元日より穏やかな正月で、未年にあたり、年末に任命式を行った山田牧場さんのかわいらしい羊二頭が御神羊として参拝者を出迎え、例年になく沢山の方が初詣に来られた。



人気だった御神羊

御神火に無病息災を祈って

一月十五日早朝、伝統のどんと祭が行われ、正月飾りなどをお焚き上げした。続いて、恒例となったが、御神火と一緒に焚き上げられないことから始まった人形感謝祭を斎行し、皆さんからお預りした沢山の古い人形やぬいぐるみなどの供養・みたま抜きを行った。

国のいにしえを偲んで

二月十一日は建国記念日、今より二六七五年前、第一代神武天皇が大和は橿原にて建国を宣言された日といわれ、国の誕生日を祝うとともに、困難を乗り越え建国を果たしたいにしえを偲ぶ日。

夏越大祓式斎行

一年の半ばの六月二十八日(土)午後三時より「夏越の大祓」が斎行された。参列者は、境内に設けられた祓所において、「形代祓い」として総代の皆さんが心を籠めて奉製した「茅の輪」をくぐり心身の罪・穢れの一切を祓い清めた。尚、予めお預かりした人形は、身代りにお祓いし、大海原に流された。終わりに、婦人部の協力により直会を行い、互いに残る半年の無病息災を祈った。



茅の輪くぐり

子供は校外学習・大人も歴史講座

神社において、今年特に生田小学校の子供たちや地域以外の方に坪沼の歴史や各地区に残る史跡などを紹介する機会を幾度と頂いた。神社をはじめ坪沼の良さや昔の生活ぶりなどを紹介しました。



生田小学校のこどもたち

神社では総代・若長参列の下、恒例の建国祭を斎行し、続いて敬神婦人部の皆さんと、電力ホールにて開催された県民大会に参加した。

今年も豊作に

農は国の礎、二月二十二日、三大祭の一つ、祈年祭を関係者列席の下斎行した。新嘗祭と対となる祭儀で、稲作を中心に豊作を祈ると共に、あらゆる産業の発展を祈願した。

賑やかに例大祭斎行

四月十五日、例大祭が斎行された。それに先立ち十一日の土曜日には、午前十時の神幸祭に続き、板橋区の担ぎ番で勇壮な神輿渡御が行われた。当初雨模様で中止も検討したが、担ぎ手たちの熱意により実施を決定、その後雨も上がり坪沼をもれなく練り歩いた。子供みこしも根添まで同行、親子皆で協力し元気よくまわる事が出来た。各御旅所では、伝統の祭囃子が演奏され、小学生の巫女さん達も浦安の舞を各所で披露、今年も大勢の供奉する人達や出迎える人々の協力で、伝統のままに滞りなく行われ、午後七時無事お山入りとなった。



巫女の浦安の舞

第二十七回 螢と平家琵琶の夕べ開催

六月二十七(土)午後六時過ぎより神社境内で坪沼の夏の風物詩 螢と平家琵琶の夕べが開催され、梅雨空の下時折土砂降りにみまわれたが沢山の市民が訪れた。当日は奥山仙台市長と佐藤村田町長ら、多数の来賓も鑑賞した。



幽玄の調べ 平家琵琶

坪沼祭ばやし 太白区民まつりへ

日頃の活動が認められ、今年十月十八日に開催された区民まつりのステージのメインとして出演、見事に演奏を披露し大きな拍手をもらった。保存会としては毎週土曜日の夜七時から、子供たちは月二回土曜日夜七時から神社で稽古に励んでいる。



堂々としたステージの様子

境内では午後六時頃より御神楽が奉納され、出店も出て夜遅くまで賑わった。

次いで十二日の日曜日には、奉祝祭が午前十時半より氏子をはじめ遠近より崇敬者が集い、斎行され、祭儀終了後は敬神婦人部の協力を得て直会が行われた。

午後よりは、奉納行事で少年少女剣道大会、続いてカラオケや歌謡ショーの演芸大会が行われ、福引大会も盛り上った。両日とも協力会が模擬店の出店などで縁日を盛り上げた。お祭り期間中は天候にも恵まれ、一同は楽しいお祭りを満喫した。総代若長をはじめ関係各位、また多くの氏子崇敬者のご奉仕と、特志協賛者のご協力により滞りなく終了した。



剣道大会



演芸大会



神輿渡御の様子

収穫に感謝し

十一月二十二日(土)豊作に感謝する祭・新嘗祭を斎行。午前中は協力会やふるさと坪沼実行委員会会の奉仕作業も頂いた。直会は芋煮等を食し、互いに労いながら祝った。

神社協力会だより

今年もお祭はじめ、年間神社行事の催行に、或は奉仕作業などに多大なる貢献を戴いた。

坪沼敬神婦人部だより

宮城県敬神婦人連合会総会が八月七日、岩沼の竹駒神社を会場に開催され、大勢参加した。他、春夏のお祭りや年末の清掃奉仕をはじめ、様々な行事にご協力頂いた。



県敬神婦人連合会総会にて

消防団の訓練

十一月二十九日恒例となつた生田分団の消防訓練が、境内で大々的に行われた。火事を出さないよう火の用心、十分気を付けましょう！



境内での放水訓練



奉仕作業の様子